

市長へ政策提言

平成18年12月19日原田会長・橋口農政部長が、池田市長に対し下記の事項について、政策提言をいたしました。

1 農業委員会活動予算措置について

遊休農地の解消，農地の有効利用，規模拡大農業者への農地集積など農業委員の日常活動如何による課題も数多くあるので，農業委員会予算措置については格別な配慮を！



2 畜産振興に関すること

曾於市が強力な畜産振興政策として実施している簡易畜舎建設並びに高生産性経営実現の要である優良素畜，種畜(牛，豚)の導入補助金交付制度(市単独，畜産振興協議会)の継続拡充を！

3 農機具事故の防止について

大型農機具による作業中事故で人命が失われている事件が多発しており，大型農機具の有効利用，効率的使用の実現と安全利用を図るため，運転免許の取得啓発と取得にかかる費用についての助成措置を含めて，格別な措置配慮を！

4 認定農業者，中核的農家の経営安定対策について

曾於市の食と農の未来像をもとに，農畜産業基盤の確立については格別な政策を進めているが，農業者の高齢化，新規就農者の減少等，生産基盤の脆弱化が進んでいる。今後，更に農地の集積，農業用共同利用施設(JA等を含む)の充実，コスト低減対策と産地銘柄の確立，ブランド産地の実現等，曾於市農業政策の一層の拡充展開を！

5 水田の多目的高度利用と米作農家の経営安定対策について

農業者，農業団体が主体となって実施される07年産以降の米作については，作る自由，売る自由に移行する環境の中で，一層の輸入米の増加と，全国的には目標転作面積を大きく上回る作付による生産過剰で，米価は極めて不安定化してきている。曾於市においては，国が示す転作目標面積を上回る転作，休耕がなされている中で，転作に参加しない農家も多く，これが全国累計の結果，過剰生産量に大きな影響を及ぼしている現状である。米作農家の経営安定対策は，適正な米価維持以外にはないことを認識するとき，全米作農家参加による転作体制の実現が大きく求められるので，これに対する行政としての米政策改革に向けて，格別の御配慮と御指導をお願い申しあげると共に，環境保全上からも水田の持つ機能を今一度見直す方策として，品目横断的経営安定策への取り組み等，水田の多目的高度利用政策の実現を！